

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 茨城町立川根小学校 担当教諭名 吉田 江梨子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成21年7月10日(金) 11:25 ~ 14:30
対象学年と人数	3年生35人(1クラス), 4年生51人(2クラス)
派遣講師名と出身国	・オレリアン・バロン(フランス) ・アンパー・チャン(オーストラリア) ・ジェフリー・パーク(アメリカ)
活動の内容	・母国語のあいさつ, 自己紹介 ・自国の紹介(民族ダンス, 文化, 遊び, お金, 自然環境など) ・質問タイム, 児童による感想発表 ・講師の方とのふれあい給食 ・全校児童との全体交流会(きらきら星の合唱, ×ゲームなど)
生徒・保護者等参加者の感想	・英語しか知らなかったけど, フランス語であいさつが言えるようになってよかった。 ・バロン先生のお話が分かりやすくて, とってもおもしろかった。 ・フランスと日本が同じ大きさなのだと聞いて驚いた。フランスが日本からとても遠い所にあることも分かった。 ・オーストラリアではお金がプラスチックでできていて, 簡単には破けないということに驚いた。 ・オーストラリアは, カンガルーが人口の2倍もいると聞き, とっても驚いた。 ・とても大ききヒョウの写真を見せてもらったことが印象に残った。 ・初めてサソリの剥製を見たのでよかった。 ・アメリカでは, 台風ではなく竜巻が襲ってくるということが分かった。
先生の感想	・写真や地図などの資料をたくさん持ってきてくださったので, 4年生の児童にもよく話が理解できた。お金や小学生の制服, プーメランなどの実物を見せてもらい, 目を輝かせていた。 ・とても楽しく活動することができた。講師の方たちは, 子どもを惹きつけるのが上手で, 子どもたちはとても満足しているようだった。外国に対する興味が高まった。 ・英語に触れる機会はあるが, その他の言語や文化に触れる機会がないので, 子どもたちはとてもいい経験ができたと思う。 ・全体交流会では, 国際交流というより楽しいエンターテイメントという印象があったので, そこを改善していかなければならない。